

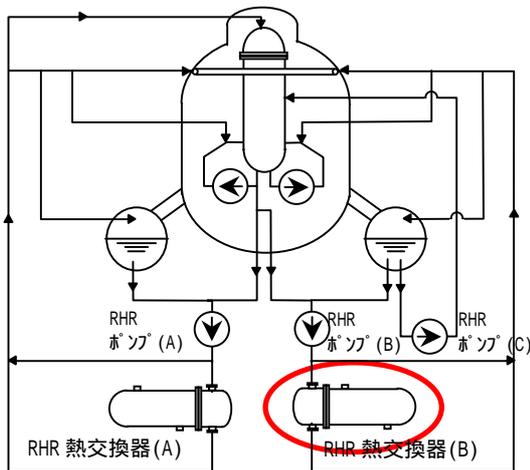
女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2

(平成18年7月分)

号機	2号機	定期検査	第8回定期検査
件名	残留熱除去系熱交換器(B)水室フランジボルトのネジ山損傷について		
月日	平成18年7月18日(火)	発生	発見 確認
場所	原子炉建屋	設備	残留熱除去系
		設備区分	安全上重要なシステム
設備概要	残留熱除去系は、原子炉を停止した後に、炉心より発生する崩壊熱を除去・冷却するための系統で、冷却材喪失事故時には非常用炉心冷却系(ECCS)として原子炉格納容器を冷却するように設計されています。		
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系熱交換器(B)の開放作業を行うためフランジボルトの外観を確認していたところ、全48本ある水室フランジボルトの内、1本についてネジ山が損傷しているのを発見しました(7月18日)。 ・ 原因については、前回の開放点検後の復旧作業時において、工具を接触させたため、ボルトのネジ山が損傷したと考えられます。 ・ ネジ山の損傷が確認されたボルトについては、新品のボルトに交換しております(7月28日)。 		

残留熱除去系(RHR)系統図



損傷していたボルト詳細



残留熱除去系熱交換器(B)拡大図

